

拠点大学の概要及び採択理由

機 関 名	京 都 大 学
[国際化拠点の構想の概要]	
「京都大学次世代地球社会リーダー育成プログラム (Kyoto University Programs for Future International Leaders: K.U.PROFILE: ケーユープロファイル)」の概要	
世界を取り巻く現代的な課題には、環境、エネルギー、都市化、貧困と人間の安全保障などがあげられる。これらの問題を解決し、安定した地球社会の発展に貢献することは高等教育機関に課せられた重要な使命である。京都大学はその理念のなかで「教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力を持つ人材を育成すること」を謳っている。この理念に基づき、京都大学ではK.U.PROFILEの構想を提案する。	
1. K.U.PROFILEの目標と達成のための施策	
K.U.PROFILEの目標は、京都大学の持つ世界最先端の独創的な研究資源を活かし、地球社会の現代的な課題に挑戦する次世代のリーダー育成のための教育である。成長著しい アジア 、人材開発が喫緊の課題である アフリカ 、研究・教育の蓄積豊富な 欧米 からの優れた留学生を集め、ともに学ばせる。併せて本学の充実した海外ネットワークを活用し、日本人学生の海外体験を促進し、将来、世界のリーダーとなる国際人を育てることを目指す。以下のような施策を実施する。	
優れた留学生獲得のために 英語のみで学位を取得できるコース を新設する。学部における英語コースのさきがけとして、アジアを中心とする途上国の都市開発・社会基盤整備・防災など幅広い分野に対応できる人材開発を目指す「地球工学科国際コース」を開設する。同時に、環境・エネルギー・防災・生命・農業・情報・霊長類研究・経営など本学独特の最先端科学を探究する8研究科・研究所において英語のみで修士・博士学位の取得できるコースを開設する。このため、国際公募により外国人教員を採用するとともに、日本人教員の海外研修を実施する。	
多くの研究所を持つ本学の特色を活かし、研究所の多様な教員の協力を得て、少人数教育、フィールド実習など 国際競争力ある教育 を実施し、国際的人的ネットワークの構築を行う。	
ベトナム、エジプトおよび中国を受入重点国 として設定する。本学はベトナムにおいてアジア・プラットフォームを設置し、最先端の防災・環境プロジェクトを実施している。アフリカにおいては長いフィールドワークの伝統を持ち、現在はエジプト日本科学技術大学 (E-JUST) の設立に深く関与している。ベトナム、エジプトには拠点を設置し、留学生受入のための 共同利用拠点 とする。中国重点大学では平成20年度に任命した海外アドバイザーを通じて優れた学生の招致を行う。	
英語での学生選抜 という新しい試みとして、日本留学試験・当該国の統一試験・IELTSやTOEFLの活用、遠隔テレビ会議を利用した面接などの工夫を行う。この際、アジア・アフリカに広がる本学卒業生のネットワークを活用し、 国際的な留学生獲得網 を整備する。	
留学生受入環境の整備 として、秋期入学の導入、留学生宿舍の増設、英語に堪能な職員の採用・配置・教育、日本語日本文化教育の強化、生活アドバイザーの増員、日本人学生による支援サークルへの援助などを積極的に行う。またこれまでの実績を踏まえ卒業後のキャリア形成を意識した教育を行い、 日本で就職 を含めての指導を行う。	
欧米の協定締結大学と連携し京都の特性を活かした「京都で学ぶアジア学と日本学」などを含む柔軟で多様性ある 短期交流プログラム を実施する。 日本人学生の交換留学 を促進し、日本人学生の海外体験に資する国際交流プログラムを充実させる。	
2. K.U.PROFILEの実施体制	
K.U.PROFILEは現在実施中の文部科学省の国際戦略本部強化学業と大いに関連するものであり、現在策定中の平成22年度からの 次期中期目標・中期計画 においても教育の国際化は本学の重点目標の一つである。K.U.PROFILEについては 総長を最高責任者 として 教育・学生・国際(教育)担当理事 等が実施責任者となる 全学体制 とする。K.U.PROFILEの取り組みについて意見を聞くために、外国人・日本人外部委員による 学外諮問委員会 を設置する。	
3. K.U.PROFILEの10年後の目標	
K.U.PROFILEの実施により、外国人正規学生および海外協定締結大学からの受入学生を増加させ、平成32年度には本学の留学生受入れ数を3,200名、外国人教員比率10%程度とすることを目指す。	
K.U.PROFILEを遂行しこれらの目標を達成することによって、京都大学の教育は国際的により一層魅力あるものとなり、国際的な知の創造に貢献するとともに、我が国の国際的地位向上に大いに寄与することとなる。	

【京都大学】

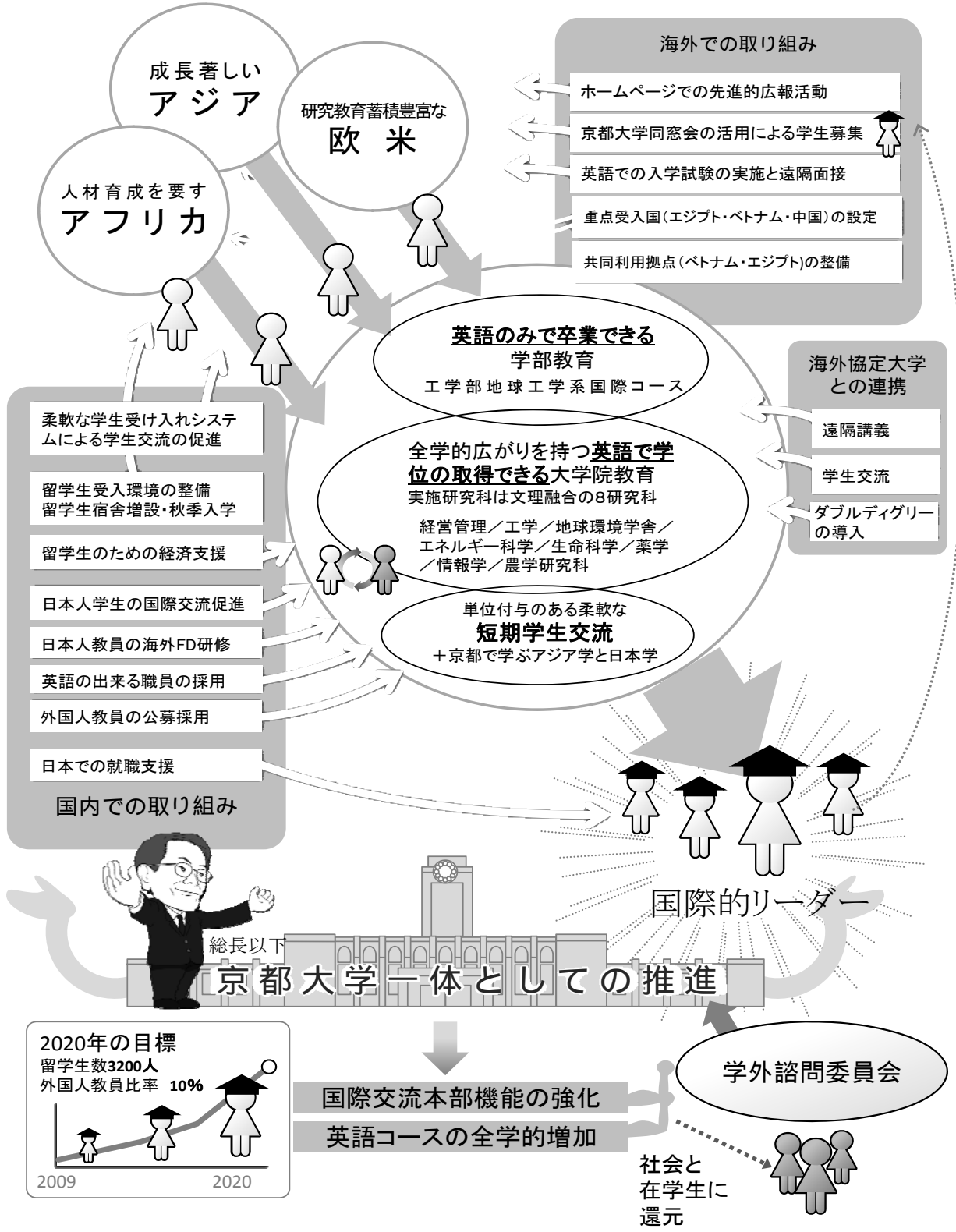
国際化拠点の概念図(海外における留学を促進するための取組、国内における留学生の受入のための取組について、構想の達成目標と取組計画をわかりやすく図示してください。)



K.U.PROFILE (ケーユープロフィール)
京都大学次世代地球社会リーダー育成プログラム

プロジェクトの意義:

世界を取り巻く現代的な課題に貢献できる、次世代リーダーの育成。



大 学 名	京都大学
-------	------

〔採択理由〕

京都大学の国際化に関し、留学生の受入実績や、英語講義の実施、遠隔講義や国際交流科目の開設などの取組が非常に優れていると評価でき、今後の留学生の受入の更なる充実が大いに期待できる。また、国際化拠点の整備のための構想においては、学長のリーダーシップの下で全学的な推進体制を確立し、意欲的な留学生の受入やその体制整備、英語による授業のみで学位が取得できるコースの多様な分野での開設などが具体的に計画されており、その実現性も高く、我が国を代表する国際化拠点としての成果と今後の展開が十分に期待できる。

＜特に優れた点、期待できる点、留意すべき点＞

- ・受入重点国の設定や英語による授業のみで学位が取得できるコースの開設など、本構想に京都大学の教育研究の実績が有効に活用されており、質の高い取組が期待できる。
- ・当該事業の実施にあたり、大学としての経費措置を含め、全学的な取組となっており、国際化拠点事業に対する意欲が感じられる。
- ・国際化拠点としては、各国（地域）との相互交流も重要であることから日本人学生の海外派遣を充実させていくことが必要である。